

第3回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日時	令和3年10月21日(木) 10:00~12:00
場所	市役所東館3階 東301会議室
報告者	豊田 健二
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

- ・欠席者 平松委員
- ・今回の議事の内容は、公開とする。

2 議事

○令和4年度豊橋市市民協働推進補助金について

- ・事務局から資料1について説明。
- ・委員：補助金の予算がいくらぐらいなのか知りたい。知っているのと補助金のことについて周りに声をかける際の参考に出来る。
- ・事務局：令和3年度はつつじ、くすのき、わかばを合わせて300万円、令和4年度も同額程度を予定している。最終的な決定は議会での議決後になる。
- ・委員：過去の実績を見ると予算額まで達していない。まずは申請を増やすことが目標だと考えるので審議員もこのような状況について把握するべきだと思う。制度の改正等も検討すべき。
- ・事務局：来年度制度の改正を検討している。そちらについては資料2で説明する予定。
- ・委員：前回わかば補助金の審査の際、委員から質問が出た後、申請者に質問を送付、その後回答が来た。回答が来たのが審査ギリギリだったのでもう少し早くしてほしい。申請者へ渡す書類にも事前審査のことをわかっていた方がいいのでは。申請書類提出後に委員から質問があることをわかるようにした方がいいと思う。
- ・事務局：申請者には書類提出時に委員から質問があることを伝えている。応募要領等書面にもその内容を記載するようにする。
- ・会長：市民協働推進補助金、今後も必要な制度であり、補助金の趣旨を考えるとこちらを利用して自立できる団体を増やすことが大事であると考えられる。何か意見があればほしい。
- ・委員：市の方から予算が出ているという話であるが、元はトヨッキー基金から出て

いると思う。トヨッキー基金の使い道について市民に理解されていないのでもう少しわかるよう周知するほうが良いと思う。補助金事業をするときもトヨッキー基金が使われていることがすぐにわかるようにして欲しい。

- ・事務局：トヨッキー基金については今の書類には1文記載があるがもう少し分かり易く図解等で周知出来るよう検討する。
- ・委員：補助金を利用したいと考える時、提出期間が1か月では準備期間が短く申請を断念する場合があると思う。準備期間を長く設けることは出来ないのか。設けることが出来れば申請をあきらめている団体などを救うことが出来ると思う。
- ・事務局：次のつつじ補助金の後期から募集期間を延ばそうと考えている。
- ・委員：補助金のチラシがどこに配布されているのか。市民センター、市民協働推進課、ホームページ以外で身近にない気がする。
- ・事務局：ポスター、募集要項を地区市民館等へ配布している。
- ・委員：補助金について自分に広報等を依頼されれば動きたいと思うがどう動いているものかわからない。もっと力を出した方がいいのか事務局からの意思表示が欲しい。
- ・委員：始め委員になる前に補助金の制度を見た時、どういう活動に使えるのかわからなかった。過去の実績がわかる資料等があると自分たちでもこの補助金を使って何か出来るか考えるヒントになると思う。
- ・委員：市民センターで補助金の事前申請をしているが委員でも知らない人がいる。制度について委員も理解を深めるべきだと考える。
- ・事務局：この審議会を一度市民センターで開始することを検討している。時期等は不明であるが決まったらお伝えする。また今月末に市民センターで年に1度のイベントがあるのでそちらにも参加してもらえればセンターを知るいい機会になると思う。
- ・委員：市民センターのイベント「オレンジフェスタ」は今月末の10月31日に開催する。例年は松葉公園を使用していたが今回はコロナ禍のためセンター館内のみの実施となる。10月30日はボランティア団体向けの講座もある。SNS等で広報もしているがセンターからのアプローチのみになっているのでよければ参加してほしい。
- ・会長：補助金を知らない団体には周知をしてほしい。補助金の利用をためらっている団体があるのであればその障害を取り除くことが大切だと思う。事務局でも検討してもらい今後も審議会から意見を出したいと思う
- ・会長：補助金の採点方法について質問のある委員がいれば発言をお願いしたい

(特に意見なし)

- ・会 長：審査書類について期間内に市民活動プラザで受けることがなっているが、相談窓口で気になることがあれば意見が欲しい。
- ・委 員：普段の接する中で申請者で事前相談のことを把握していない人もいたので周知について課題があると思う。
- ・委 員：申請者は市民センターで助言を受けて手直しをしたものを市役所に提出しているということでもいいのか。
- ・事 務 局：市民センターからの助言した内容について連絡が来るのでその内容を踏まえて窓口で確認している。
- ・委 員：助言した後の内容を再度確認はしていないので反映されているかはわからない。
- ・会 長：市民センターにて助言を受けることが申請の前提にある。審査時に修正が必要と分かる時があり、その時は事務局に伝えて修正する方法があると思うがなるべく審査前にも確認をするようにしてほしい。
- ・事 務 局：こちらの方で修正箇所の確認が漏れてしまっていたことは申し訳なかった。市民センターの方でどう助言がされていたのか連携をしてやっていきたいと思う。
- ・委 員：市民センターの方で事前相談があったのち、事務局が修正箇所を確認してその後の形を市民センターに報告した方がいいのではないか。事前相談を受けたがその内容が反映されずに申請書が提出され不採択になった場合市民センターとしても困るのではないか。
- ・事 務 局：現在中間支援として市民センターに事前相談をお願いしているが、非採択になった場合も市民センターに責任があるとは考えていない。
- ・会 長：事前相談を受けた後、修正したものを再度市民センターにもっていくのは手間等を考えると難しいと考える。助言を受けた後の提出書類について情報連携をどうするのかまた検討してほしい。
- ・事 務 局：助言を受けて、どのような修正をされたか市民センターへ情報提供するようにする。
- ・委 員：一般の人が申請書を書くのはとても大変だと感じる。市民センターでの助言を受けてその後市役所でも窓口でも気になることがあれば申請者に修正をお願いしていると思う。修正が必要かどうか申請者は理解が難しいと思う。
- ・事 務 局：申請日ギリギリで提出される方には窓口のその場で修正を依頼することがある。その内容についても市民センターへ情報共有できるようにしたい。中間支援組織としての観点と市役所としての観点を活かして事業を進めていきたい。
- ・委 員：市民センターと市役所との情報連携は必要だと感じる。市民センターが申

請の中で必ず事前相談が必要であれば申請書類の中でもう少し目立つ場所、表紙などに記載した方がいいと思う。

- ・事務局：表紙に記載するよう内容を修正する。
- ・会長：他に意見があれば発言をお願いします。

(特に意見なし)

- ・会長：それでは次の議題「つつじ補助金、わかば補助金の制度変更案について」について事務局から説明をお願いします。
- ・事務局：資料2について説明
市外在住者、個人を申請者に追加するため、申請者の負担軽減として市民センターでの事前相談をZOOM等のオンラインで出来ないか検討していることを資料説明時に追加で説明。可能であれば今回のつつじ、くすのき補助金から実施する予定。
- ・会長：今の説明について意見等あればお願いします。
- ・委員：交通費と宿泊費について1人当たりの上限の決まりが必要になると思うが。
- ・事務局：今後上限について詰めていきたいと考える。職員の旅費規定等を参考にしながら考えていきたい。
- ・委員：細かい場合分けが必要になると思うので注意を払って進めてほしい。
- ・委員：次のつつじ補助金後期申請から申請期間を変更するとのことだったが、今回のつつじ前期は12月からしかできなかったのか。
- ・事務局：今回のつつじ前期について広報の都合上12月からスタートとなった。次回のつつじ前期についてつつじ後期の変更を踏まえて申請期間の前倒しを検討したい。変更する場合は申請期間が10月からとなる。
- ・会長：申請期間を延ばすということだが、わかば補助金について市外対象者追加とあるが具体的にどのような人を想定しているのか。
- ・事務局：学業などで市外に行く方を想定している。そのような方にアプローチしたいと考えている。
- ・会長：豊橋に住んだことのない人でも豊橋に貢献したいという思いがあれば利用できるということでもいいか。
- ・事務局：利用できる。
- ・会長：他に意見があれば発言をお願いしたい。

(特に意見なし)

- ・会長：それでは次の議題「市民協働推進補助金 新規メニューの検討」について事

務局から説明をお願いします。

- ・事務局：資料3について説明。
- ・会長：今の説明について意見があればお願いしたい。
- ・委員：先ほどの説明の捕捉になるが今自治連合会のなかで「明るい市民生活委員会」というものがあり、その中で若者、女性の自治会活動への参画をテーマに話し合いをしている。今回この補助金の話を買いたいという若い人が自治会の活動に関心を持ってもらえるのか考えている。若い人は地域に入りたいのか入りたくないのか、今は自治会側が若い人が入ってくれないという漠然とした思いを持っているので、若い人の声を聴ける機会があれば実施したいと思っている。
- ・委員：若者の自治会活動への参加について何か具体例は考えているのか。
- ・事務局：コロナ禍で自治体活動をオンラインでやる場合など、ZOOM等の設定に疎い自治会とノウハウを持っている若者を繋げるなど、自治会の悩みごとを若者のスキルで埋めることが出来ないかということ为例として考えている。また若者に地域コミュニティの課題を考えてもらう流れでも自治会活動への参加を考えている。
- ・会長：地域コミュニティが自分たちで課題を見つけることが難しく若者から問題を見つけてほしいのであれば若者が地域を知る必要があると思う。
- ・事務局：地域版のオープンキャンパスではないが若者が地域を知る機会を増やすことを考えている。大学に対してもこれらの取り組みについて意見を求めて行きたい。
- ・委員：今年、豊橋中央高校が柳生川の清掃に関する内容でわかば補助金を利用している。向山校区の自治会と11月7日合同で川清掃を行う予定となっている。今回のケースのように一方的に自治会側から話をするのではなく双方から話がある取組を今後も行って行きたい。
- ・委員：先ほどのオンライン化について、当事者が問題と思っていないことがあると思う。未だに会議の書類が手書きの団体もある。今までのやり方を変えられないと思っているものを若者の意見が入ると変えることが出来るという「気づき」が生まれると思う。女性の自治会参加についても名義は主人の名前だが実際の活動は奥さんが行っているということがある。そういった部分も変えていければと思う。
- ・委員：自分が住んでいる下地地区は町の自治会長で女性の役員が4名いる。女性の視点で見ると変化があると考えられる。
- ・委員：大学には様々な学部があり遠方から来る学生も多い。大学に来るときに始めて豊橋に来た人もいる。自治会に対して思い入れや関心がない人もいると思う。自治会の課題についてわからない人も多いと思うのでお互いのことをフ

ラットに知ることが出来る場所が必要。大学には様々な学部や分野があるので例えばそれぞれの分野から代表の人に意見交換に参加してもらい、その中で「自分の専門分野が生かせるかも」と思ってもらうことが大事だと思う。

- ・委員：パートナーとしてということだが自治会の悩みを聞きとるのが市役所ということか。
- ・事務局：その部分の組み立てをどうしようかと考えている。最初は自治会の中で課題を出してもらったがそれが難しいとのことだった。学生へのアプローチについても必ずしも豊橋に住んでいない人がいる。しかし将来はどこかの地域に居住するはず。将来の自分たちことも考えて自治会について考えてもらう、そんな機会を作ることも検討したい。
- ・委員：この補助金は学生が課題を考えてということだが、学生が考えた課題が自治会等の課題と一致しない場合はどうなるのか。
- ・事務局：その場合はわかば補助金などを活用してもらえればと思う。地域の課題の探し方について現在愛知大学だと栄校区、創造大学だと牛川校区と連携をしているのでそういったものを例として紹介できれば課題を探す手掛かりになると思う。
- ・委員：創造大学が作成した地区の地図は自治会と連携したものになる。市内で51の校区があるのでそれぞれ地域の悩みがある。そういうものを若者の声を聴いて対応していくような意見交換会などを設けたい。今は明るい市民生活委員会の4名が行っているので少しずつ動いていきたい
- ・委員：自治会と関わることがないのでそういった機会があればいいと思う。
- ・委員：お祭りや体育祭など今までは個別に考えていたが1つの地区の行事として考え若者からの意見を求めて行けるといいと思う。
- ・委員：私は岐阜から豊橋に来ていて自治会についてもわからず他人事と思っていた。自治会や地域が抱えている課題についても検討がつかないので意見交換できる機会があることはいいと思う。
- ・会長：豊橋に住んでいない人も関係人口として上手く取り込んで地域を盛り上げて行ければいいのではないかと思う。
- ・会長：他に意見があれば発言をお願いします。
(特に意見なし)
- ・会長：特に意見がないようなので次回の審議会について事務局から説明をお願いします。

4 第4回審議会について

令和4年2月ごろを予定

5 閉会

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和3年10月30日

議事録署名者

山本 朋采

永田 十晴

第3回豊橋市市民協働推進審議会委員名簿

(敬称略)

NO	氏 名	備 考
1	菊地 裕幸	愛知大学から推薦 (愛知大学地域政策学部 教授)
2	高野 英司	豊橋市自治連合会から推薦 (豊橋市自治連合会理事)
3	村松 史子	豊橋商工会議所から推薦 (豊橋市商工会議所女性会)
4	吉田 修也	特定非営利活動法人ビリーブ (豊橋市民センター職員)
5	丹下 佳子	公募
6	大谷 代里子	公募
7	山本 朋采	愛知大学から推薦
8	水野 有華	豊橋技術科学大学から推薦
9	永田 十晴	豊橋創造大学から推薦

※任期：令和3年5月10日～令和5年5月9日

《事務局》

市民協働推進課 課 長 榎本 陽子
主 幹 中澤 浩英
課長補佐 大渡 伸一
主 査 青木 岳茂
主 査 大谷 ゆき
主 事 豊田 健二